

# 獣医学教育モデル・コア・ カリキュラム改定/改訂作業(案2)

獣医学教育モデル・コア・カリキュラム検討委員会  
佐藤晃一（山口大学）

2018年3月26日

# 実施体制

委員	昆 泰寛	北海道大学	基礎 (解剖系)
委員	志水泰武	岐阜大学	基礎 (生理・生化系)
委員	○佐藤晃一	山口大学	基礎 (薬理・毒性系)
委員	森田剛仁	鳥取大学	病態 (病理系)
委員	芳賀 猛	東京大学	病態・応用 (微生物系)
委員	三澤尚明	宮崎大学	応用 (衛生・公衆衛生系)
委員	荻和宏明	北海道大学	応用 (衛生・公衆衛生系)
委員	滝口満喜	北海道大学	臨床 (伴侶系)
委員	亘 敏広	日本大学	臨床 (伴侶系)
委員	猪熊 壽	帯広畜産大学	臨床 (大動物系)
委員	山下和人	酪農学園大学	臨床 (外科系)
アドバイザー	選考中		

○委員長, 赤フォント新任

## キャッチフレーズ

### 日本の多様な獣医師職域に対応するとともに 世界標準となる獣医学教育を実践する

#### 【改定および改訂の趣旨】

獣医師の職域は多様であり、我が国では伴侶動物・産業動物臨床獣医師、公務員獣医師、研究者獣医師などにそのニーズがある。また、諸外国と比較して、公務員獣医師（食品衛生、公衆衛生、家畜衛生）としての社会的ニーズが高い特徴を持っている。一方、世界的な農畜産物の流通と感染症の拡大を受け、獣医学教育には統一された教育内容が求められている。そのため、国際的獣医学教育内容の均一化に向け、欧州獣医学教育機関協会（EAEVE）や米国獣医師会

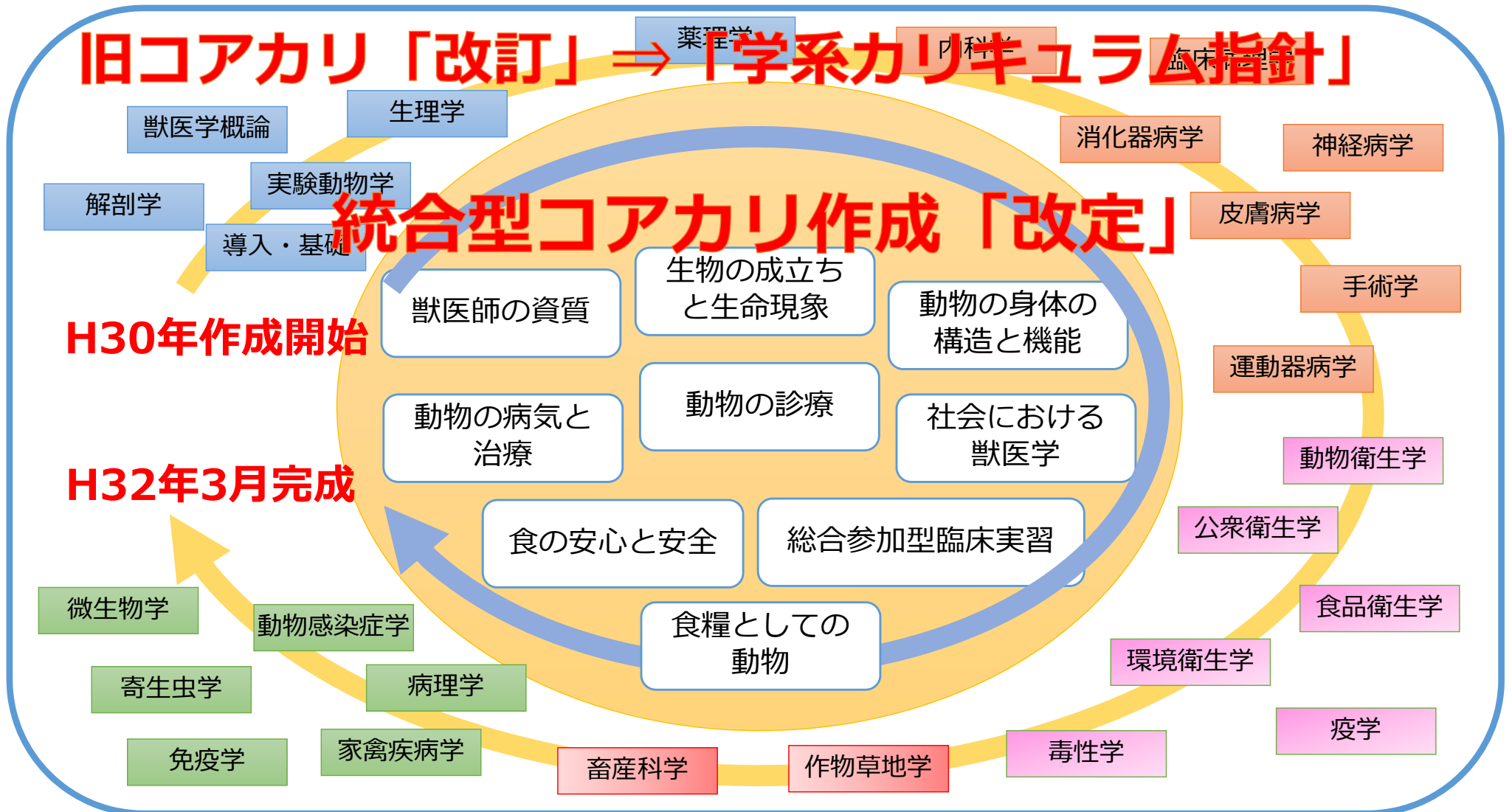
（AVMA）などの評価組織により国際獣医学教育評価ワーキンググループ（IAWG）が設置され、検討が開始されている。

2011年に作成された獣医学教育モデル・コア・カリキュラム（獣医学コアカリ）は、科目単位の「学系カリキュラム」となっており、獣医学士・獣医師が必要とする知識・技能の全体像が明確に提示されていない。そこで学体系を脱却し、獣医学コアカリを「**統合型カリキュラム**」へと「**改定**」することで、真にコアとなるものを明示する。なお、これまでの獣医学コアカリは「**改訂**」することで、「**学系カリキュラム指針**」として共通教科書や共用試験の指針として利用する。

本改定により、獣医学コアカリは国内の多様な獣医師職域に求められる獣医師像を明示するとともに、世界標準の獣医学教育を実践する基盤となる。

# 改定/改訂における基本方針1

獣医学教育・モデル・コアカリキュラム（**新コアカリ**）は統合的内容として**新規作成（改定）**。既存のコアカリ（**旧コアカリ**）は、コアカリ準拠教科書作成の指針として残し、共通テキストの作成や共用試験（vetCBT）の実施における指針として利用するため「改訂」。これら**の作業を同時進行する。**



# 改定/改訂における基本方針2

## 【基本方針】

- 現行コアカリは「学系カリキュラム指針」として改訂し，新コア・カリキュラムとして「統合型コア・カリキュラム」を作成する。
- 改定の趣旨（キャッチフレーズ）を提示し，ステークホルダーに趣旨と理念を伝える
- 「獣医学士」「獣医師」人材の育成に必要な・十分なコア・カリキュラムとする
- 日本の獣医師のあるべき姿を明示し，育成を可能とするコア・カリキュラムとする
- 世界に通用する獣医師の資質を備えうるコア・カリキュラムとする
- 基本的な資質・能力を身に付けるに必要な充分な“学習内容”を明確に提示する
- 総合参加型臨床実習は総合参加型実習と名称変更し「伴侶動物臨床実習」，「産業動物臨床実習」，「食肉衛生・家畜衛生実習」を含む
- 各大学の獣医学教育に関する評価・認証の基盤となることを意識する
- 世界標準となるコアカリキュラム作成のために畜産関連コアを入れる
- 医学教育コア・カリキュラム（平成28年度改訂版）の構成と内容を参考としつつ，獣医学の特徴を配慮したコア・カリキュラムを作成する
- 学系カリキュラム指針は「コア」と「アドバンスト」を明確にしカリキュラムを簡素化する
- 学系カリキュラム指針では，実習科目は講義科目と一体化する
- 学系カリキュラム指針では，文言の統一とキーワードおよび索引作成を行い利便性を高める

## 【作業方針】

- 統合型コア・カリキュラムは少人数ワーキンググループで素案を作成する
- 作業を2年間で完了し平成32年度春に公開する（作業等経費は文科省委託事業等で確保）
- 学系カリキュラム指針の改訂作業では，コアカリ準拠教科書編集者を科目責任者とする
- 学系カリキュラム指針は，コアカリキュラム検討委員会委員（担当者）と共に科目責任者が改訂素案を策定し，部会等に示して意見を募る形で進める

# 改定/改訂目標と具体的実施内容1

## 改定/改訂の目標

## 実施すべき取り組み

金 要経費

多様な獣医師  
職域へ対応し  
た獣医学教育  
の実践

○基礎獣医学分野，応用獣医学分野，臨床獣医学分野で求められる獣医学教育内容の調査  
・獣医学教育関係者および各分野の獣医師へのアンケート調査  
・日本獣医学会各分科会での検討

**要至急実施** 金

○実習教育コア・カリキュラムの改定  
・診療参加型臨床実習の再検討と食肉衛生・家畜衛生実習のコアカリ化への検討  
・既存実習系コア・カリキュラムの見直し（講義コアカリへの集約）

○コアカリ準拠教科書の改訂と共用試験との整合性担保  
・教科書編集委員との情報共有とコアカリ改訂作業の依頼

国際的な獣医  
学教育統一化  
への対応

○国際的獣医学教育とは何かを明らかにし，必要に応じて取り入れる  
・IAWGによる取り組み，OIE，RCVS，EAEVE，SAVCのコアカリキュラム調査研究  
・取り入れるカリキュラムの精査

金

○日本の獣医学教育を世界へ発信する  
・獣医学教育・モデル・コア・カリキュラムの英文化しWEBで公開する

金

○世界標準獣医学教育への対応  
・畜産関連科目のコアカリ化

コアカリキュ  
ラムの簡素化

○コアとアドバンスの内容の切り分け  
・分科会および教科書作成グループでの検討

コアカリキュ  
ラム重複への  
対応

○重複教育内容の把握  
・文言の統一とキーワードの索引作成

金

○重複カリキュラムの削減  
・キーワード初回実施科目へのリンク構築（基礎→応用→臨床）

## 改定の目標

統合型コア・  
カリキュラム  
作成

## 実施すべき取り組み

- 少人数委員（ワーキンググループ）による新コアカリ作成作業
  - ・医学コアカリおよび薬学コアカリ検討
  - ・新コアカリ骨子の作成

**要至急開始**

- 委員会内での新コアカリ案の検討

- 全国獣医学教育関係者への提示と修正

- パブリックコメントの実施

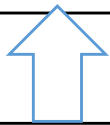
金 要経費

金



# 旧コアカリ改訂の役割分担：教科書編者が科目責任者となる

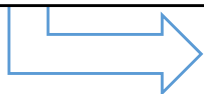
講義科目：分野	科目	担当者
導入教育・基礎獣医学教育分野	獣医学概論, 獣医倫理・動物福祉, 獣医事法規, 解剖学, 組織学, 発生学, 生理学*, 生化学*, 薬理学, 動物遺伝育種学, 動物行動学, 実験動物学, 放射線生物学	佐藤, 志水, 昆
病態獣医学教育分野	病理学, 免疫学, 微生物学, 家禽疾病学, 魚病学, 動物感染症学, 寄生虫病学	森田, 芳賀
応用獣医学教育分野	動物衛生学, 公衆衛生学総論 <sup>1</sup> , 食品衛生学 <sup>1</sup> , 環境衛生学 <sup>2</sup> , 毒性学, 人獣共通感染症学 <sup>2</sup> , 疫学, 野生動物学	三澤
臨床獣医学教育分野	内科学総論 <sup>b</sup> , 臨床病理学*, 臨床薬理学, 呼吸循環器病学 <sup>b</sup> , 消化器病学 <sup>b</sup> , 泌尿生殖器病学 <sup>c</sup> , 内分泌代謝学 <sup>c</sup> , 臨床栄養学, 神経病学 <sup>d</sup> , 血液免疫病学 <sup>d</sup> , 皮膚病学 <sup>d</sup> , 臨床行動学, 外科学総論 <sup>a</sup> , 手術学総論 <sup>a</sup> , 麻酔学, 軟部組織外科学 <sup>a</sup> , 運動器病学 <sup>a</sup> , 臨床腫瘍学, 眼科学, 画像診断学, 産業動物臨床学, 馬臨床学, 臨床繁殖学	滝口, 亘, 猪熊, 山下



集約し実習コアカリは削除

- ・コアカリ準拠教科書出版済み科目（※PDFファイルでの対応, 数字は合本）
- ・作成作業中（アルファベットは合本）

実習科目：分野	科目	
導入教育・基礎獣医学教育分野	解剖学実習, 組織学実習, 生理学実習, 生化学実習, 薬理学実習, 実験動物学実習	
病態獣医学教育分野	病理学実習, 微生物学実習, 寄生虫病学実習	
応用獣医学教育分野	動物衛生学実習, 公衆衛生学実習, 食品衛生学実習, 毒性学実習	
臨床獣医学教育分野	小動物内科学実習, 小動物外科学実習, 画像診断学実習, 産業動物臨床学実習, 臨床繁殖学実習, 総合参加型臨床実習	



総合参加型実習：伴侶動物臨床実習, 産業動物臨床実習, 食肉衛生・家畜衛生実習のみコアカリ作成



# コアカリ改定/改訂事業工程(201803案)

年度	H29年度												H30年度												H31年度												H32											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
イベント	平成24年度コアカリ改訂版公開から6年目 9月：獣医学会（全国協議会） H30年 3月：全国協議会 3月：共同教育課程完了（6校）												4月：新6年開始（6校） 7月：共用試験・全大学で一回は実施完了 9月：獣医学会（全国協議会） 11月：OIE会議, AAVS会議 H31年 3月：全国協議会 3月：共同教育課程完了（2校）												4月：新6年開始（2校） 9月：獣医学会（全国協議会） H32年 3月：全国協議会												9月：獣医学会（全国協議会） H32年 3月：全国協議会											
コアカリ工程 H32年度公開	2月：改定方針案（キャッチフレーズ）と役割分担の作成 03月：改定/改訂方針の決定（全獣協） ・意見調査（ステークホルダー、科目担当教員）												4月-8月： ・意見調取りまとめ ・改定/改訂素案作成 9月：素案作成状況の提示（全獣協） 10月-3月：素案のブラッシュアップ 3月：素案の再提示と決定（全獣協）												4月-8月：改定/改訂最終案作成 9月：最終案の提示と決定（全獣協） 9月-10月：改定案パブコメ 9月-3月：改定/改訂最終案修正作業 2月-3月：英文化 03月：最終案の決定（全獣協）												4月：新コアカリ公開・旧コアカリも指針として公開 5月：検証  H32年春以降 新コアカリ対応カリキュラムの開始（開始時期は大学の状況に依存する）											
その他	→文科省から財務省へ予算要求 -（H30年度概算要求） ⇒財務省却下（H29年12月） ・先端的国立大学改革推進事業への申請（H30年2月現在未定）												・文科省予算が付かなかった場合も作業は継続する。 ・コアカリ用語の統一 ・キーワード検索 ・コアカリ記載内容の校閲 ・Day1-skillsとコアカリの関係																								・共用試験範囲の変更と問題見直し ・共通テキスト改訂											